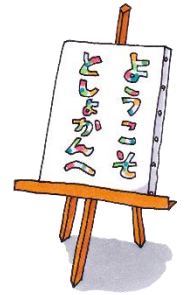


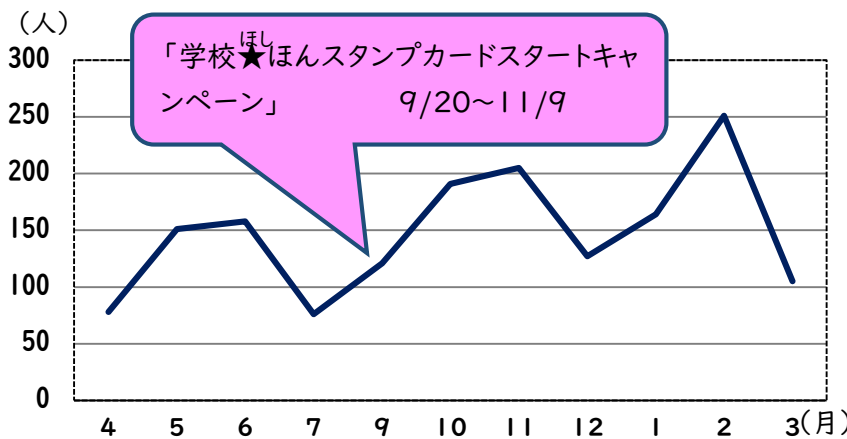
中央図書館内
TEL 0299-92-3746
FAX 0299-93-0946



新型コロナウイルスがインフルエンザと同様に5類となった現在、様々な制約が緩和され、学校もこれまでの日常を取り戻しつつあるかと思えます。しかしながらコロナ禍だからこそ生まれた新しいアイデアもあったのではないのでしょうか。今年度で4年目を迎えた「学校★ほんお届けサービス」もその中で生まれたアイデアの一つです。図書館が遠くて行けない、コロナ禍で思うように本が手に入らない児童生徒のために始めたサービスと言えます。今年度は、新たに5校が加わり、より多くの児童生徒、および職員の方々にご利用いただけるようになりました。

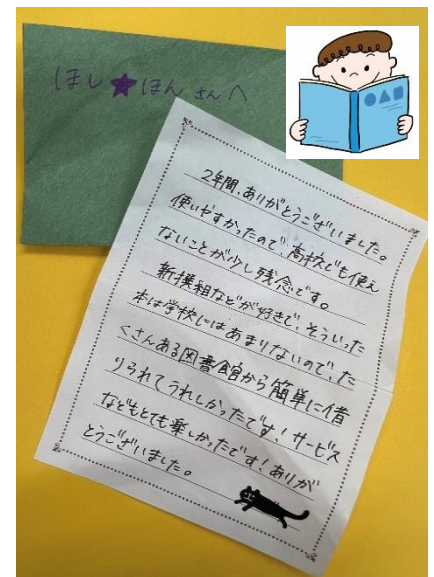
2022年度 学校★ほんお届けサービス実施報告

① 学校★ほんお届けサービス利用者の月別人数の推移



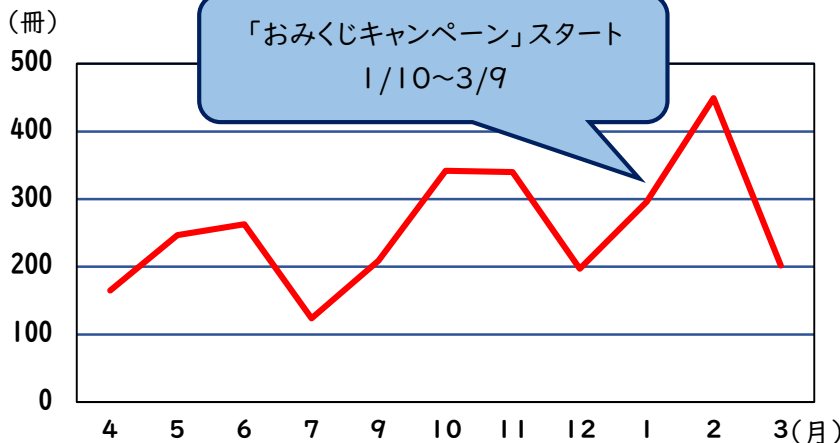
小学校	: 9校
中学校	: 4校
高等学校	: 1校
合計	: 14校

利用者さんの声



【中学生 I さんからの手紙】

② 学校★ほんお届けサービス貸出月別冊数の推移



学校図書館アドバイザーからのひとこと

本への誘い…オリエンテーションの意義

学年(年齢)が上がるにつれて不読率が上昇していく要因の一つとして、校種の切り替わりがあげられています。ここ数年は、新型コロナ感染症が与えた影響も不読率の低下に拍車がかかったと指摘されています。休校により学校図書館にアクセスできない、オリエンテーションも受けられないといったことが大きかったようです。入学や進級初めにどのように読書への誘いを学校が行うかが重要な意義を持っているのだと思います。各学校、オリエンテーションは実施されていますか。

ある日曜日のこと、一人の男の子が私を訪ねて来館してくれました。その目的は、出前講座で紹介してもらった本を借りることでした。出前講座のほんの数分、本の紹介をしたことが彼の読書欲を高めるきっかけとなったことにとても喜びを感じました。

紙の本に、子どもたちが「いつ」「どのように」出会うか、それはとても大切なことです。先生方の影響は絶大です。ぜひ、朝の会や帰りの会、少しの時間で結構です。本の読み聞かせや紹介を通して、子どもたちを本の世界へ誘っていただきたいと思います。

学校図書館アドバイザー 高田 悦子

出前講座実施報告



4月から6月にかけて出前講座を実施しました(5校 全22回)。その中で今回は、5月12日(金)に行った大野原西小学校の1年生を対象とした「オリエンテーション」を紹介します。

この講座は、入学して間もない1年生が学校図書館のきまりや本の借り方返し方を学び、学校図書館を上手に利用することができるようにするためのものです。担任、学校司書(学校図書館指導補助員)、合わせて3人で行いました。学校司書と2人で借り方の実演をして見せると、子どもたちは皆「1年1組の〇〇です。〇番です。本を借ります。」と学校司書にはっきりと伝え、自分が選んだ本を上手に借りることができました。借りた本が入ったバッグを大事そうにかかえる児童の姿と笑顔を見ることができました。



【上手に借りることができました!】



『オリエンテーション』

講座内容(45分)

- 1 絵本「ありこのおつかい」の読み聞かせ
- 2 紙芝居「赤木かん子の図書館の使い方」
- 3 大野原西小学校の図書室のきまり
- 4 振り返りクイズ
- 5 図書室の本貸出し
- 6 まとめと振り返り



1 学期の学校図書館支援センターの主な動き

統計報告の提出

毎月10日 ※FAX可です!

定期巡回 6~7月に1回訪問予定

(各校の訪問日は巡回スケジュール参照)

学校図書館アドバイザー訪問(6月20日まで)

(新ご担当者からのみの訪問です。)

図書購入2回目

6月第2週: 購入依頼の配布

7月第2週: 購入依頼書の提出メ切

配本の予定 第2回目

波崎方面: 配本 5/31(水)→回収 7/12(水)

神栖方面: 配本 6/1(木)→回収 7/13(木)